

● 恩賜上野動物園

【イベント情報】

「絶滅したニホンオオカミ展」を開催します

恩賜上野動物園(園長 小宮 輝之)では、今年の干支「戌」にちなんだ展示として、「絶滅したニホンオオカミ展」を開催しますので、下記のとおりお知らせします。

会場には、和歌山大学(和歌山県立自然博物館所蔵)及び東京大学よりお借りする「ニホンオオカミ」の剥製を展示するほか、パネルにより絶滅したニホンオオカミを紹介します。

日本に現存するニホンオオカミの剥製は3体のみで、今回はそのうちの2体を同時にご覧いただけます。大変貴重なニホンオオカミの剥製を見ながら、絶滅した動物に思いを廻らせてはいかがでしょうか。

記

- 1 開催期間 平成18年2月4日(土)～平成18年2月26日(日)
- 2 観覧時間 平日：午前10時～午後3時30分
土日：午前10時～午後4時30分
- 3 場 所 西園 ズーポケット
(動物園ホール隣)
- 4 展示内容
 - イヌ科動物の分類パネル
 - ニホンオオカミの剥製(2体)
 - ニホンオオカミの紹介パネル



【ニホンオオカミの剥製】

【参 考】

● ニホンオオカミ(食肉目 イヌ科)

学 名：*Canis lupus hodophilax*

英 名：Japanese Wolf

頭胴長：95～114cm 尾 長：30cm

生態等：かつて、本州・四国・九州に生息していましたが、明治38年(1905)に奈良県東吉野村で捕獲された個体を最後に絶滅しました。オオカミとしては小型で、タイリクオオカミの亜種とみられていますが、独立種とする説もあります。体毛は、灰褐色から淡黄褐色で、足と耳が短いのが特徴です。ニホンオオカミの剥製は、国内では和歌山大学(和歌山県立自然博物館所蔵)、東京大学のほかに国立科学博物館の計3頭のみで、大変貴重なものです。